

ハッ

人生も四十年を過ぎ  
私は旅行を趣味にすることにした

連休になることに都会を  
離れて遠出をする

旅行といっても観光地を  
巡ったりすることも無く、  
むしろガイドにも乗らない  
ような辺鄙な土地を旅する  
ことを好んだ

私にとって旅行とは都会の人込みから  
離れ、一人になって雑多な人間関係を  
考える整理するための行為なのかも  
しれない。

そんなわけで今回の旅先も人里を離れた  
山間部にある小さな村だった。  
ネットの片隅で見つけた手作り感のある  
民宿のサイトに入り、そこに泊まるこ  
とにしたのだ。

こんにちは！

今日予約を入れてくれた  
お客さんですか？

うわーありがとうございます！  
実はここお母さんの趣味みたいなもの  
で、お客さんほとんど来ないんですね

はーこんにちは  
今日はよろしく  
おながいします

お、私横沢未明、このまま、  
お客さんお母さんから  
来られたんですか？  
お、お母さんか、  
お、お母さんか、

横沢未明 (OCI)

昼間は周辺を散策する。  
目的など決めず、にただ  
ブラブラするという自由  
な時間を満喫する。

この村の人はよく私に声をかけてくれる  
人懐こい土地柄なのか、よほど客が珍しいのか...

巨石信仰かな？



夕食は地元でとれた野菜や山菜料理を  
出してもらった

派手さはないが普段は味わえない  
家庭の味があるがたい

未明は何作っても

田舎コケにしちゃう  
けどや

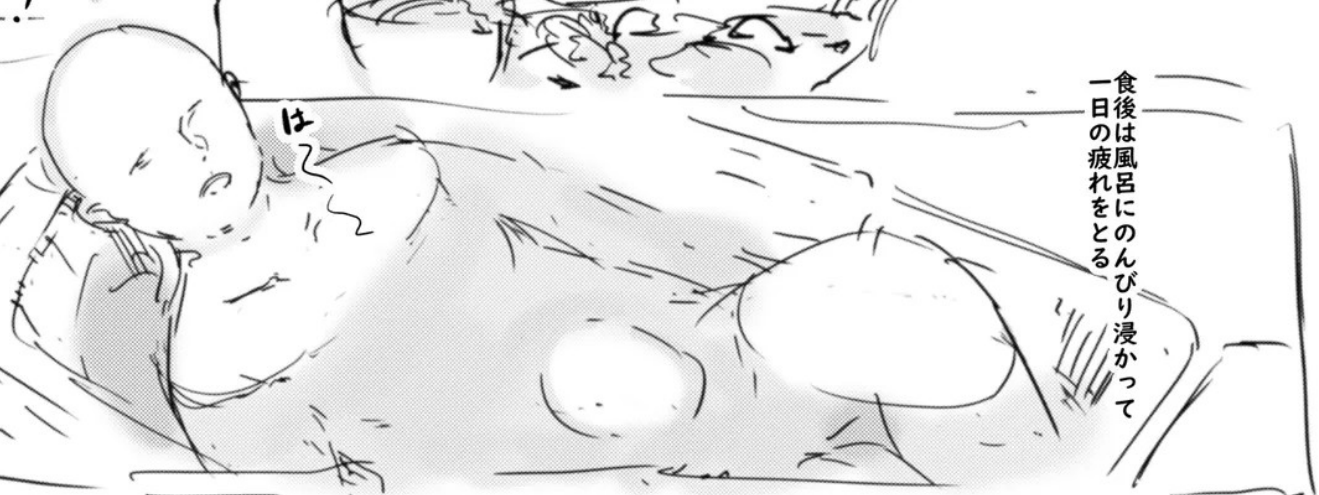
おんにははく  
おんにははく

ありがとう



食後は風呂にのんびり浸かって  
一日の疲れをとる

雑多な日々の事を忘れられる  
最高の休日だ



未熟者ですが、何卒よろしくお願いします

今宵子種様のお相手をさせていただく横沢未明と申します

風呂あがって寝室に入ったらかいた...

ええ...

えっと未明ちゃん...?だよね

そういう冗談は危ないからやめた方がいいよ...?



こういうことして勘違いした  
大人が居たら本当に襲われ...

いいんですよ

うおっ!

お、女将さん違うんですよ

これは未明ちゃんの  
悪ふざけで...

いいんですよ

ここは辺鄙な村でしょう？  
昔からの風習で血が濃くなり過ぎないよう  
遠方から来たお客様を子種様と敬い、生娘  
をあてがって子作りをして頂いて  
いるのです。

やばい...

いつの時代の風習だよ...  
今令和だよな...

い...いや未明ちゃん  
まだ中〇生ですよ...

そういうことは将来  
好きな相手を見つけて  
からです...

私、もう好きな人いるよ？

幼なじみで  
かっちゃんっていった

ズズズ...

でも好きな人と子種様から子供を授かるのは別でしょ？  
学校でもそう教えてもらったよ？

何この村...

早く帰りたい...

まずい...何とかしてここを抜け出さないと...

でモ何故か考えがまとまらない...

母 ほう未明・子種様にあれをお見せします



えーあれ本当にゆるの？  
ハズカシイ...

それに下半身が痛いくらい勃起して

ビキキ...

あまいういデ思考がほやける...



まずい...  
まずい...  
まズイ...

母 ほう早く



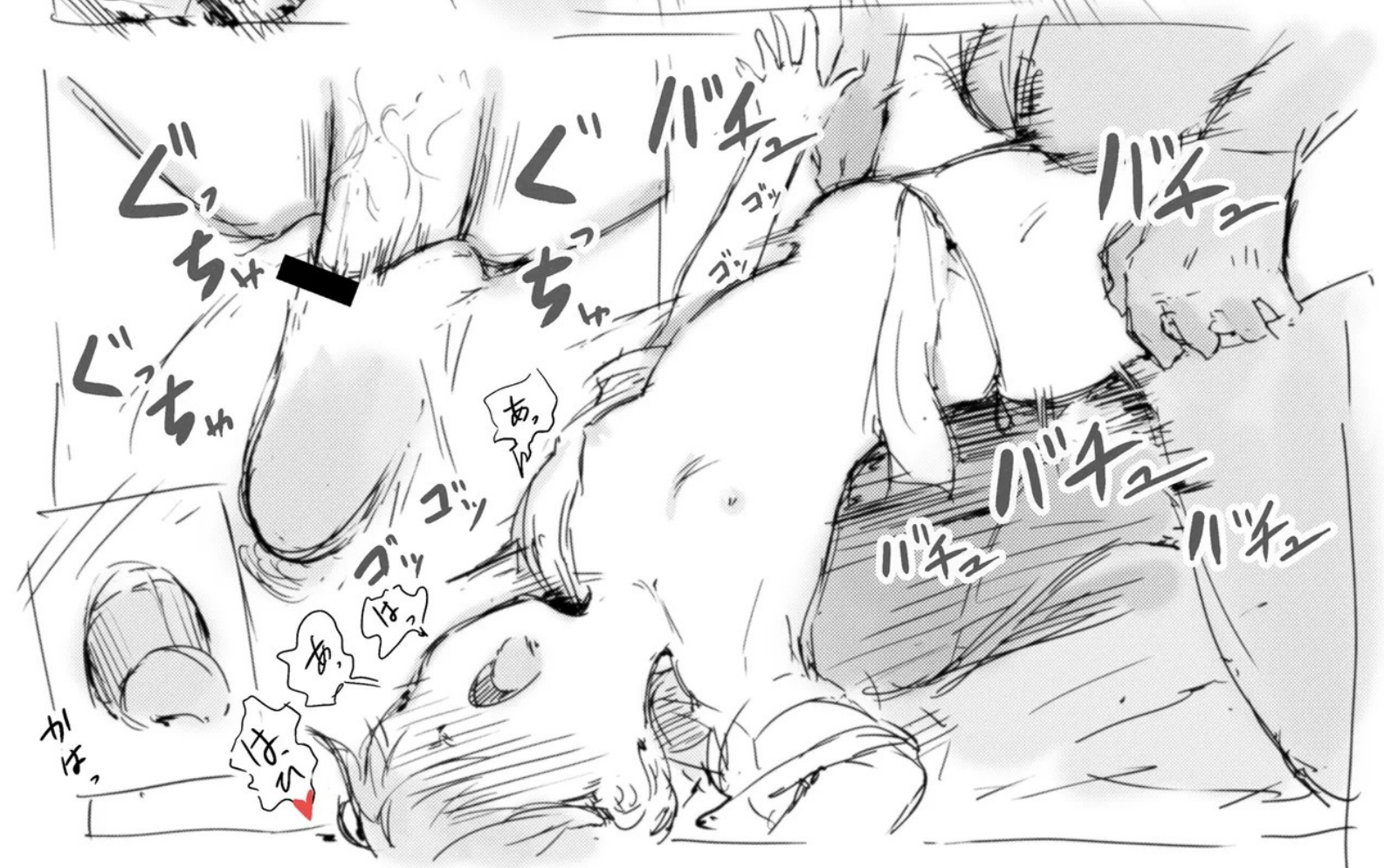
み未明の胆女穴を  
子種様に挿入します

子種様の妊娠汁を注ぎ込んで  
未明を孕ませて下さい

おアアアアアアアア









だからあなたも頑張りなさい



私があなただの歳の頃にはもう  
あなたを身籠ってました



ド  
チ<sub>2</sub>

ド  
チ<sub>2</sub>

ド  
チ<sub>2</sub>

ド  
チ<sub>2</sub>

ド  
チ<sub>2</sub>

ド  
チ<sub>2</sub>

チ  
ハ  
ハ

ハ

じ  
ち<sub>4</sub>

じ  
ち<sub>4</sub>

ち  
ち<sub>4</sub>

ち  
ち<sub>4</sub>

じ  
ち<sub>4</sub>

じ  
ち<sub>4</sub>

じ  
ち<sub>4</sub>

ハ  
ハ

ハ  
ハ

グ  
グ

ハ  
ハ

ち  
ち<sub>4</sub>

ち  
ち<sub>4</sub>

ち  
ち<sub>4</sub>

ち  
ち<sub>4</sub>

ハ









